

令和5年度 学校評価

内子町立小田小学校

- 1 実施期日 令和5年12月～令和6年2月 対象 保護者26名 児童32名 教職員10名
 2 評価 5段階評価（そう思う・だいたいそう思う・あまり思わない・思わない・分からない）
 3 評定 肯定的意見・・・「思う・やや思う」、否定的意見・・・「あまり思わない・思わない」

教育目標	ふるさとに誇りをもち、自ら学び、自ら考える児童の育成
基本方針	<ul style="list-style-type: none"> ・「生きる力」を育み、子供一人一人が輝く学校づくり ・心の教育の充実を図り、人権が尊重される学校づくり ・「ふるさと小田」のよさを生かした特色ある学校づくり ・安心・安全で信頼される学校づくり

平均80%以上・・・A、但し75%以下がある場合・・・B

	アンケート項目	評価結果	考察・改善	学校評価委員の評価	評定
児童の様子について	○ 児童は楽しく学校に通っている。	肯定的意見 児童 94% 保護者 100% 教職員 100%	<p>「楽しく学校に通っている」の評価が高い。「5」の付く日前後を挨拶の日として児童、教職員で挨拶を行っている。隣接する小田中学校とタイアップしながら、挨拶運動を推進していきたい。また中学生との遊び時間も設け、楽しく活動することができた。無理せず機会を設けて交流を図っていきたいと考える。</p> <p>昨年度より行っている「おしゃべりタイム」は、児童理解の上で大きな効果があった。児童一人に対して2名の教職員が、じっくりと話を聞く時間を設けることで、全職員が全児童の様子に気を配り、共通理解のもと児童が毎日楽しく通える学校づくりを目指している。</p> <p>学期に1回「健康リズムチェック」を行い、基本的な生活習慣の見直しと家庭への啓発を行っている。</p>	<p>出会う子供たちはみんな気持ちの良い挨拶をしている。すがすがしい気持ちになる。</p> <p>車にも手を振って挨拶をしてくれ、うれしく思う。</p>	A
	○ 児童は、進んで挨拶をしている。	肯定的意見 児童 100% 保護者 89% 教職員 90%			
	○ 児童は、外で遊ぶなど進んで体を動かしている。	肯定的意見 児童 88% 保護者 70% 教職員 100%			
	○ 児童は、「早寝・早起き・朝ごはん」の基本的習慣が身に付いている。	肯定的意見 児童 91% 保護者 85% 教職員 90%			
学習指導について	○ 児童は、授業が「分かりやすい」または「楽しい」と思っている。	肯定的意見 児童 97% 保護者 100% 教職員 100%	<p>法令で定められている基準により現在の3・4年生、5・6年生が複式学級対象となるが、教頭が学級担任をすることにより3・4年生のみ複式となっている。</p> <p>毎年行っている標準学力調査で、本校の児童は読解力に課題があることが分かった。毎週末に全学年、読み取りのプリントを配布し、読解力の向上を目指している。</p> <p>家庭学習においては、「家庭学習のすすめ」を作成し、家庭の理解と協力を得ながら進めている。ただ、学年や家庭によって学習支援への温度差があるのが課題である。</p>	<p>授業参観の際に見た子供たちの生き生きとした様子が印象的だった。</p> <p>全ての保護者が分かる授業、楽しい授業の実践を評価していることがすばらしい。</p> <p>子供たち一人一人を大切にしたい教育方針が目に見えてありがたい。</p> <p>児童、保護者、教職員の評価が異なるのが気になる。家庭学習は工夫が必要だ。</p>	B
	○ 児童は、家庭で学習する習慣が身に付いている。	肯定的意見 児童 68% 保護者 70% 教職員 90%			
生徒指導・児童理解について	○ 児童は思いやりのある心が育っている。	肯定的意見 児童 97% 保護者 100% 教職員 100%	<p>毎月の生活アンケートなどで児童の実態把握に努めている。悩みの有無に関わらず、学級担任が個別に話を聞く時間を設けている。「おしゃべりタイム」とも合わせて、教職員間の情報交換を密にし、児童のサインに気付き早期の対応を行うこと、必ず記録を残すことを徹底している。</p> <p>現在不登校児が1名おり、フリースクールに通っている。決して学校と離れないよう定期的に学級担任や養護教諭を中心に連絡を取り、行事等には参加できるようになってきた。また、月に1回、学校と保護者、関係諸機関との連絡会を設け、情報交換や今後の対応について話し合っている。</p>	<p>学校全体の雰囲気が良い。何かあっても全力で解決していただける信頼がある。</p> <p>子供たちが楽しく学校に通える環境づくりがされている様子がよく分かる。</p> <p>先生方や地域の方がきめ細やかに接していることがよい環境を作っている。</p> <p>いじめに関しては些細な変化に気を配り、注意してもらいたい。</p>	A
	○ 学校は、いじめや差別のない楽しい学校づくりに努めている。	肯定的意見 児童 97% 保護者 92% 教職員 100%			
	○ 学校は、児童理解や信頼関係づくり努めている。	肯定的意見 児童 100% 保護者 85% 教職員 100%			

特色ある教育活動	○ 学校は、小田の人・自然・文化を生かした教育活動の充実に努めている。	肯定的意見 児童 100% 保護者 96% 教職員 100%	ふるさと学習で地域に出かけて行ったり、地域の方をゲストティーチャーとしてお招きしたりする学習活動をたくさん行うことができた。来年度も継続していきたい。 学校運営協議会「おだの学び部会」で作成している人材バンクの登録者数も増えた。今年度は部会の協力を得て、人材マップや人材ファイルを作成し、地域の方に支えられていることが子供たちにも目に見えて分かるようにした。	地域の祭りに関わったり、道の駅を授業で取り上げたり等、良い取組がされている。 学校運営協議会、PTA、学校、地域が連携して特色ある取組ができている。 小田ならではの自然を生かした授業は、子供たちにとってかけがえのないものになる。もっともっと活用していただきたい。 学校運営協議会委員の活用場を増やしたい。	A
健康・安全教育	○ 学校は、健康安全や防災教育の充実に努めている。 ○ 学校は、児童の病気やけがなどの対応を適切に行っている。 ○ 学校は、子どもが安心して学べるような施設環境になっている。	肯定的意見 児童 100% 保護者 92% 教職員 100% 肯定的意見 児童 97% 保護者 100% 教職員 100% 肯定的意見 児童 100% 保護者 100% 教職員 100%	2月26日の地震の際、児童、教職員共に落着いて行動し、すみやかに避難することができた。日頃の訓練の成果だといえる。今後も、内容を工夫しながら幼・小・中合同の避難訓練を継続し、「自助・共助」の意識を高める安全教育に努めていきたい。今年度は、小中合同の引き渡し訓練を実施した。地域の防災活動にも積極的に参加していきたい。 児童が欠席した時や学校で体調不良になった場合には、速やかに保護者と連絡を取る等、誠実な対応を継続して行う。 昨年度作成した防災マニュアルを見直し、新たに項目を起こし加筆をしている。毎年見直しを行うとともに、災害時の教職員の動きについて確認を行うことが大切である。管理職の指示がなくても、迅速、的確に行動ができるようにしていきたい。	見守り活動の継続性には頭が下がる。 定期的に防災訓練がされて、真剣に取り組む様子が見られた。 近年、災害が多発しており、防災教育の重要性を感じる。力を入れていってほしい。	A
保護者・地域との連携	○ 学校は、学校・学級通信・HPなどで積極的に児童の活動の様子等を伝えている。	肯定的意見 児童 77% 保護者 100% 教職員 100%	毎日のようにホームページを更新し、児童の様子や学校の教育活動の様子を紹介している。校報や学級通信で行事に関する児童の感想等を掲載して、学校や児童の様子を知ってもらうことができた。 3学期より、小田自治センター（スバル）のロビーにも学校の取組を紹介する掲示コーナーを設けている。	学校からの情報発信は保護者に高く評価されていて非常に良いと思う。家庭での会話につながっていくとなお良い。 学校だよりで地域の方々も様子がよく分かる。その上に学年だよりで細かく様子を報告していることに感謝する。	A
その他	○ 働き方改革を推進し、ゆとりある教育活動を展開する。		ワークエンゲージメントは高い水準を示しているが、ワークマネジメントについては課題が残る。担当している校務分掌によって個人差はあるが、昨年度と比べると在庁時間の長い教職員が増えた。教育活動の精選、時間の短縮、業務の簡略化を図ることは必須事項として計画的に進めていきたい。 職員会議にかかる時間は減少した。		